

熱海温泉

スタンプラリー 押印帳

# 七湯めぐり

小沢の湯で 温泉玉子を作ろう!



## 熱海温泉の由来

【あつうみか崎】

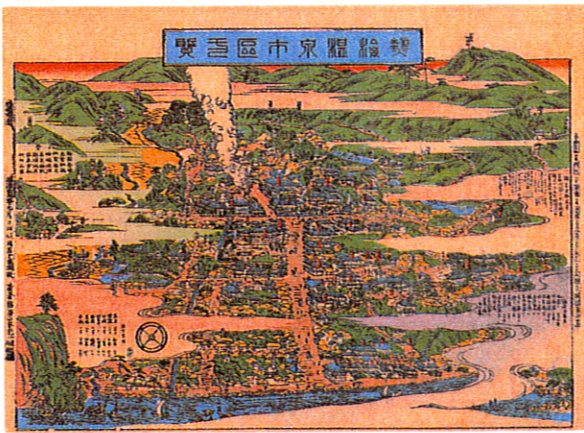
今をさること一千数百年の昔、温泉すさまじく此の海上に湧き昇って、浦浪ごとく熱湯となつたりければ、このあたりを「あつうみか崎」と呼びぬ。

魚介なべて爛れ死し、然らざれば遠く逃れ、漁業すたれ、田畑荒れ、住む人安き心もなし。あまつさえ、或る年のはじめ、沖遠くすなごりに出でし若者ら、残りなく暴風（はやて）に吹き流され、船くつがえりて溺れ死にしか、幾日を経るも帰らざりけり。

時に、玉ぐしげ箱根の山に一人の生き仏おわします。日々に方広経一万巻を誦したもうの故に、世人崇めて「万巻上人（まんがんしょうにん）」とぞ呼びける。此の上人、或る日、錫（しゃく）を此の地に飛ばして、里入らに置（のた）も。うらく、「われ、図らずも、常陸なる鹿島明神の夢の御告げをこむりたりすなわち、汝らを救うために、三十日が間、断食、加持し、其の験（しるし）によつて、海中の熱泉を磯山あたりに移し、却つて之を一つの薬泉と化せしめんと欲す。汝らも誠心をぬきんで、我が願の成就を祈れ。ゆめ、はやまりて絶望すな」とぞ仰せける。かくて磯山の窟にこもりて、三十日が間、食を断つて薬師如来に祈りたもう。

「喜ばつしやい、皆の衆、薬師如来の御加護によつて、わしが念力も満願して、海の中の熱泉は、みんなあの山へ移つてしまつたのじや。…… よるこぼつしやい、よるこぼつしやい——」

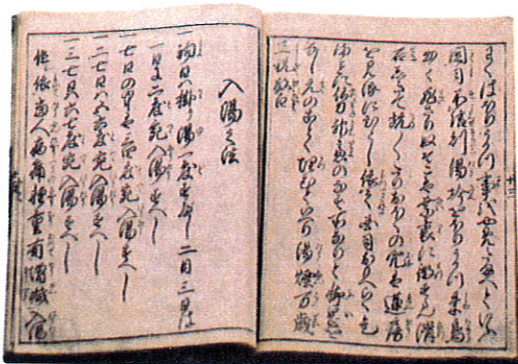
坪内逍遙作「熱海ベータメント」より



（熱海市立図書館蔵）

## 温泉「入湯之法」

（豆州熱海之記）



「入湯之法」〔『豆州熱海之記』〕

元禄八年の『豆州熱海之記』では、熱海をおとずれた経験をもつ医者 の勧めとして、初日は一度全身に湯をかけて、体をあたためるだけにとどめ、入湯はしないようにして、二日目、三日目は二度ずつ入湯し、四日目から七日目までは三、四度ずつの入湯とすること、二廻り目は、毎日五、六度ずつ、三廻り目は、毎日六、七度ずつの入湯と定めており、各人の病気の軽重によつては、回数を増減せよともいつている。また、ぬる湯は腹がはるから、あつ湯の方がよいが、そうかといって、あまり熱いと疲れが出てくるので、自分の体力をみて加減しなければならぬ。いっぽう温泉の湯は、飲むと下痢をするため、飲んでいけないが、胃腸の強い人は、必ずしもそうではない。要するに湯治が効いてくれば、のどもかわき、食欲も進んでくるといつている。

元禄のころには後世とちがって、湯店側はむしろ医者との世間的な地位を利用して、こうした宣伝をしていたと考えてさしつかえない。

# 熱海散策コース

## コース名及びコース内容

### ■浪漫への出発コース

熱海駅…紅葉山人筆塚…太田駒千代の墓(医王寺)…  
…人車鉄道の碑…お宮の松…サンビーチ

### ■文学と名勝へのいざないコース

来の宮駅…双柿舎…坪内逍遙の墓(海蔵寺)…錦ヶ浦

### ■名刹と湯けむりコース

来の宮駅…湯前神社…大湯間歇泉(七湯めぐり)…  
…糸川遊歩道…熱海ムーンテラス

### ■梅香る芸術との出会いコース

来の宮駅…熱海梅園(中山晋平記念館・澤田政廣記念館)…  
…丹那トンネル慰霊碑

### ■熱海ロマン散策コース

熱海駅…軽便鉄道機関車…丹那湧水の水飲み場…  
人車鉄道の碑…オールコックの碑と愛犬トビーの墓碑…  
市街電話発祥の地…釜鳴屋平七夫婦像…逍遙歌碑…  
熱海御用邸跡の碑…丹那トンネル殉職者慰霊碑…救命碑…  
水力発電所跡の碑…芭蕉の句碑…武田鷲塘の句碑…  
波多野光雨の句碑…来の宮駅

### ■湯けむりウォッチングコース

熱海駅…駅前間歇泉…紅葉山人筆塚と句碑…金色夜叉の碑…  
…貫一お宮の像…遠泳記念の碑…市街電話発祥の地…  
大湯間歇泉…湯前神社…天然記念物大モガシ…  
ハーブ&ガーデン(曾我神社)

### ■お寺めぐりコース

椿寺・保善院・天寿院・福泉寺…泉公園…日金山ハイキングコース

### ■草燃ゆるコース

熱海駅…逢初橋…走り湯…伊豆山神社…子恋の森公園

# 熱海七湯めぐり

古来から数ある源泉の中でも  
熱海温泉の歴史に重要な  
位置をしめてきた「熱海七湯」  
その七つの源泉をめぐり  
「熱海七湯」にまつわる話と歴史にふれ  
湯の町情緒を楽しんでみてください



**湯へ新へバス**  
湯へ新へバスへの乗降は黄色い  
のバス専用所をご利用下さい。  
※熱海駅はバスロータリー  
0番のりばとなります。

**観光案内マップ。**  
× 観光-文番 P 駐車場 C コンビニエンスストア



熱海  
七湯

# 佐治郎の湯 (目の湯) Sajiro no yu (Me no yu)

その  
二



(熱海温泉図集)

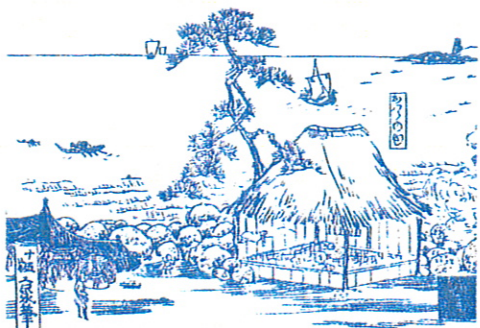
佐治郎という者の邸内にあったことから「佐治郎の湯」といわれました。また、この源泉は明治のころは上杉助七という者の邸内にあり、のち新かど旅館の所有になったので「新かどの湯」ともいわれました。この湯は火傷にも良いが眼病にもよく効くといわれ、別名を「目の湯」ともいいました。

●湯へ直〜バス「サンビーチ」バス停下車 徒歩7分(銀座通りスルガ銀行横)

熱海  
七湯

# 河原湯 Kawara yu

その  
一



(熱海温泉図集)

このあたりを東浜といい、道もなく石のごろごろした河原で、温泉が絶えず豊富に湧き出ている村人の入浴場でした。湯治客は大湯の源泉が主に使われ、ほかの源泉も限られた家のみが使用するお湯で、熱海村の農民や漁師や近郷の人達が自由に入浴できるのは、この「河原湯」だけでした。寛文6年(1666年)小田原城主稲葉美濃守が、村民のために浴室を設けてその屋根を瓦葺としたため、「瓦湯」と称したとも言われています。この湯は神経痛やリュウマチなどに効能があり塩分が多く、人が入ると透明な湯が白く濁るほどであったといえます

●湯へ直〜バス「サンビーチ」バス停下車 徒歩2分(釜つる支店横)

案内板の樹の  
記念スタンプを  
とろう

# 河原湯・佐治郎の湯・清左衛門の湯 (目の湯)

## 周辺案内

湯へ直〜バス「お宮の松前」バス停下車



買一お宮の像



お宮の松

明治30年から6年間読売新聞に掲載された尾崎紅葉の名作、金色夜叉。買一とお宮の泣き別れのシーンに熱海海岸が登場します。海岸近くの緑地帯に2代目お宮の松と買一お宮の像もあります。



スカイデッキ・レインボーデッキ／酒税水公園



河原湯・佐治郎の湯・清左衛門の湯  
(目の湯)

周辺案内

湯～遊～バス「サンビーチ」・「銀座」バス停下車



サンビーチ

ホテルの目の前が、とびっきりのビーチなんて、熱海ならではのこと。ファミリーでもカップルでもめいっぱい楽しむことができます。海上に浮かぶカラフルな離岸堤は、芸術家故池田満寿夫氏のデザインによるもの。



熱海  
七湯

清左衛門の湯

Seizaemon no Yu

その  
三



(熱海温泉図集)

昔、農民の清左衛門という者が馬を走らせて、この湯壺に落ちて焼け死んだので、その名が付いたといいます。明治までは、昼夜常に湧き出たえることがありませんでした。人が大きな声で呼べば大いに湧き、小さな声で呼べば小さく湧き出たといわれています。

●湯～遊～バス「サンビーチ」バス停下車 徒歩5分(旅館古屋前)



河原湯・佐治郎の湯・清左衛門の湯  
(目の湯)

周辺案内

湯～遊～バス「銀座」バス停下車



ムーンテラス

熱海の新しい観光名所。イルミネーションや噴水モニュメントが配され、昼は青い海を望む憩いの場として、夜は美しい光に彩られ、多くの人で賑わいをみせています。

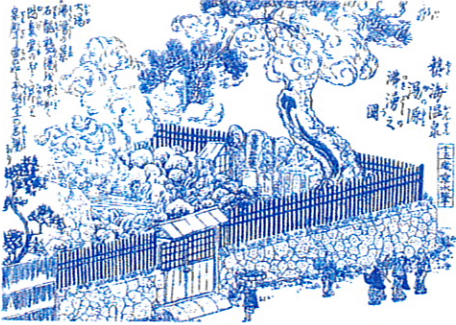


渚親水公園

ムーンテラスに隣接した親水公園は、海を眺めながら歩ける散策路やイベント会場、駐車場を完備しています。



# 大湯 Oyu



(熱海温泉図集)

古来からの間歇泉で世界でも有名な自噴泉でありました。「大湯」の噴出は昼夜6回で、湯と蒸気を交互に激しい勢いで噴出し、地面が揺れるようであったといえます。明治中ごろから次第に減少し末ごろには止まってしまいましたが、関東大震災のとき再び噴出しました。しかし、その後も噴出回数は減少しつづけ、昭和のはじめついに止ってしまいました。昭和37年に人工的に噴出する間歇泉として整備され、市の文化財として保存し現在に至っています。

●湯へ遊へバス「大湯間歇泉」バス停下車 徒歩3分(ニューフジホテルアネックス横)

# 風呂の湯 水の湯 Furo no yu/Mizu no yu



風呂の湯

(熱海温泉図集)



水の湯

(熱海温泉図集)

「風呂の湯」は、昔の坂町高砂屋の庭から湧き出ていました。今の福島屋旅館の西側です。この湯は外傷に良いといわれ、また、湯気の上騰が盛んで饅頭を蒸したり酒を温めたりして販売していました。「風呂の湯」の傍ら1.5メートルほど東のところに塩分のない温泉が湧き出ていました。明治11年、大内青巒の熱海史誌には、淡白無味常水をあたためるもののごとし、故に「水の湯」と名付くと記されています。

●湯へ遊へバス「大湯間歇泉」バス停下車 徒歩5分(福島屋旅館横)

# 大湯・風呂の湯 水の湯・小沢の湯 (平左衛門の湯)

## 周辺案内

湯へ遊へバス「大湯間歇泉」・「水口」バス停下車



湯前神社

湯前神社は熱海温泉の湯の神。豊かに湧く湯に感謝して、発展を願うために建てられた神社です。



オールコックの碑

〈英人ノ此ノ地ニ遊ブハ吾輩ヨリ始ルコトヲ知ラシム矢〉

初代英国公使ラザフォード・オールコックの熱海滞在記念碑と、大湯の熱湯で大火傷を負って死んだ愛犬トビーの墓。



双柿舎

明治の文豪、坪内逍遙が大正9年に建築、昭和10年2月に没するまで住み、シェイクスピアの全訳をここで完成させました。現在、早稲田大学所有。

◆一般開放は、第1・第3木曜日、第2・第4日曜日の10時30分～14時となります。



海蔵寺

本堂横手の奥に坪内逍遙のお墓があります。



大湯・風呂の湯 水の湯・小沢の湯  
(平左衛門の湯)  
周辺案内

湯～遊～バス「大湯間歌泉」バス停下車

「小沢の湯」で温泉玉子



湯～遊～バス、大湯間歌泉バス停から歩いて1分。「小沢の湯」で熱海ならではの美味しい体験をしてみよう。「小沢の湯」の、蒸気の噴きだし口へ備え付けのザルにのせた玉子を置き、待つこと約8分。アツアツの温泉玉子のできあがりです。



※噴きだし口は高温なので  
ご注意ください。  
※ゴミは必ずゴミ箱へ。



熱海  
七湯

小沢の湯  
(平左衛門の湯)  
KOSAWA NO YU (Heizaemon no yu)

その  
六



(熱海温泉図集)

沢口弥左衛門、藤井文次郎、米倉三左衛門の庭の湯を「平左衛門の湯」と称していました。また、土地の人は小沢にあったので「小沢の湯」とも称しました。「清左衛門の湯」と同様、人が大きな声で呼べば大いに湧き、小さな声で呼べば小さく湧き出たといわれています。

●湯～遊～バス「大湯間歌泉」バス停下車 徒歩3分(日本たばこ産業熱海営業所横)

大湯・風呂の湯 水の湯・小沢の湯  
(平左衛門の湯)  
周辺案内

湯～遊～バス「市役所前」バス停下車



ノスタルジー浪漫

芸妓見番ふらり

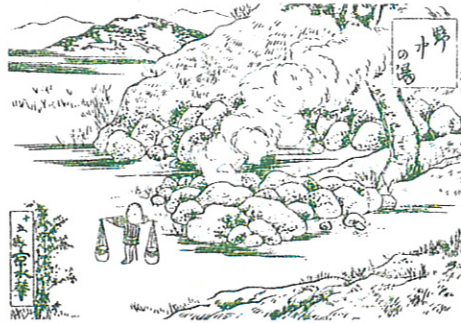
熱海温泉の歴史を語るのになくてはならない芸妓見番。初めて訪れるのにどこか懐かしい……。ぶらり立ち寄ると遠い昔の人々の華やいだ声が聞こえてきそうです。毎週土・日曜日には湯めまちをどり「華の舞」を見ることができます。日本人の心のひだに触れる鮮やかな粋、芸妓の爽やかな「心意気」の世界を、ごゆっくりとお楽しみください。



観賞券  
大人 1,300円  
●芸妓踊り・顔見せ・お菓子お茶付  
日時  
毎週土曜・日曜開催  
●土・日曜日 午前11時00分より  
会場  
熱海芸妓見番歌舞練場  
熱海市中央町17-13  
●お問い合わせ先  
TEL.(0557)81-3575

# 野中の湯

Nonaka no yu



(熱海温泉図集)

野中山のふもとの、このあたりを野中といいます。この辺一帯は、泥の中に湯がブクブク噴いて、杖で突くと湧き出したといわれています。また、このあたりの土は丹(赤色の土)のようで、壁を塗る材料にしました。江戸時代までは、この「野中の湯」は湧き出るところが浅かったので、あまり入浴には利用されなかったようで、そのため、湯をためる湯拵を設けなかったといわれています。

●湯～遊～バス「咲見町」バス停下車 徒歩7分(中銀ライフケア咲見入口横)

# 野中の湯

## 周辺案内

湯～遊～バス「咲見町」・「来宮神社前」バス停下車



来宮神社

樹齢2千年、周囲20mの国指定天然記念物の大楠があります。神社の起こりは、奈良時代、和銅3年(710)に漁夫の網にかかった木像を祀ったのがはじめてと伝えられ、漁業の神、禁酒の神、植林の神としても崇められています。



明治29年から40年まで熱海・小田原間を人が乗った車両を人夫が押してレールの上を走る人車鉄道が活躍しました。

豆相人車鉄道 (M-7)

